

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪大学(吹田)微研感染症共同実	階数	地上4F
建設地	大阪府吹田市山田丘	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	88人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年11月25日
敷地面積	994,412 m ²	作成者	株式会社総合企画設計 大阪支店 第二
建築面積	808 m ²	確認日	2021年11月22日
延床面積	2,102 m ²	確認者	株式会社総合企画設計 大阪支店第二



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 93%
③上記+②以外の 93%
④上記+ 93%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	建物の特性に合わせて、使いやすさ、維持管理を当初から想定し計画している。高効率設備やリサイクル材を採用し、環境負荷を低く抑えられる建築物となるよう配慮した。停電時の電源の確保など、有事に備えた設備も確保している。	その他 特になし
Q1 室内環境	シックハウス対策として、F☆☆☆☆の建材を採用するなど室内環境に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー	換気ボイドを設置するなど自然エネルギーを利用し、建物内の設備は、LED照明など高効率設備を採用することで、建物から発生するエネルギー量の低減に努めた。	LR3 敷地外環境 建設に伴って発生するCO ₂ の発生量を低く抑えることで、地球温暖化に配慮した。
Q2 サービス性能	建物用途に即した内装計画を行い、また、配管部材は、耐用年数の長いものを採用し、機器更新時のバックアップスペースを確保するなど、維持管理にも配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	節水器具を採用し、リサイクル材を積極的に使用するなど資源保護に努めている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0088

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	大阪大学(吹田)微研感染症共同実験棟新営その他工事
	建設地	大阪府吹田市山田丘
	用途/区分	学校(大学等)

【評価結果】	CASBEE 総合評価		B+																
①	CO2削減		3																
②	みどり・ヒート アイランド対策		2																
③	建物の断熱性		5																
④	エネルギー削減		3																
⑤	自然エネルギー直接利用		—																
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	<table border="1"> <tr> <td>太陽光発電</td> <td>—</td> <td>風力</td> <td>—</td> <td>地熱</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>太陽熱利用</td> <td>—</td> <td>水力</td> <td>—</td> <td>バイオマス</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> </table>	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—	
太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—												
太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—												

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.2	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.5	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	対象外

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		